

U.S. Indicators

マクロ経済指標レポート

**米国 2月の非農業部門雇用者数は前月差+19万人が見込まれる
(2月18日までの週の新規失業保険申請件数)**

06年2月23日(木)

～足下の新規失業保険申請件数の基調は28万件程度に減少～

(No. UI-206)

第一生命経済研究所 経済調査部

桂畑 誠治(かつらはた せいじ)

(03-5221-5001: seiji@dlri.dai-ichi-life.co.jp)

27.8 万件と市場 予想を下回った

06年2月18日に終わった1週間の新規失業保険申請件数(季節調整済み)は、27.8万件と市場予想の30.0万件への増加に反し前週の29.8万件から2.0万件減少した。また、トレンドを示す4週間移動平均は、28.2万件と前週の28.3万件から低下し2000年6月以来の低い水準となった。11、12日に北東部を中心に大雪となったものの土日だったこと、1月の住宅許可件数、建築中の住宅が高い水準となり人手不足の状態が続いていることから、建設部門の雇用が維持されたとみられる。加えて、消費の堅調、復興関連の需要等によって、失業保険申請件数は28万件程度に低下したと考えられる。

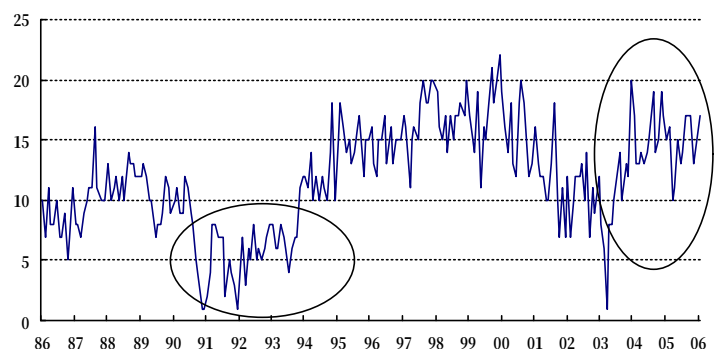
06年2月の雇用統計調査週である2月18日に終わった1週間の新規失業保険申請件数(季節調整済み)が1月の雇用統計調査週から水準が切り上がっていること、1月に暖冬によって雇用者数が押し上げられた反動がでること等から、2月の非農業部門雇用者数は前月差+190千人程度に鈍化が予想される。

2月11日に終わった週の失業保険受給者数は249.5万人と前週から増加したものの、01年2月以来の水準で推移している。また、2月11日に終わった週の失業保険受給者比率が1.9%と1月の2.0%から低下しており、2月の失業率も4.7%前後となる可能性が高い。

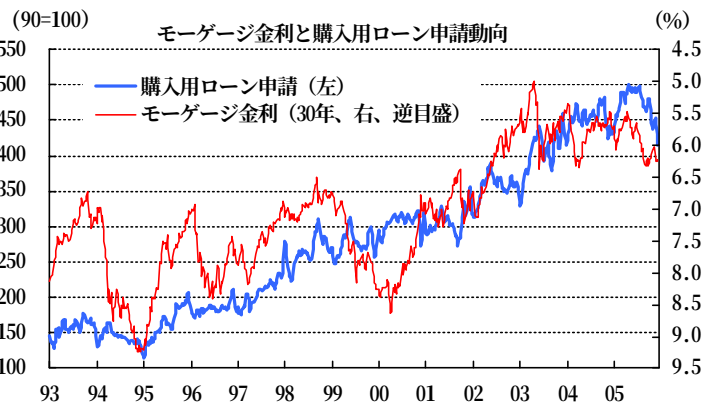
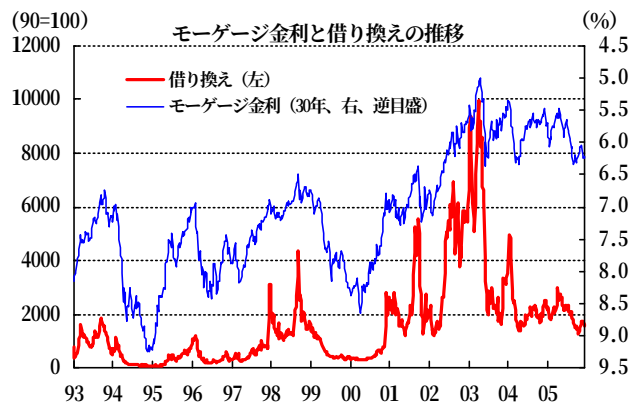
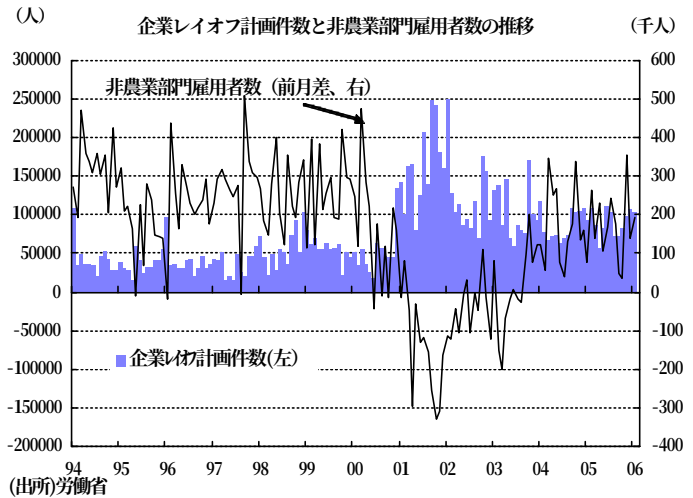
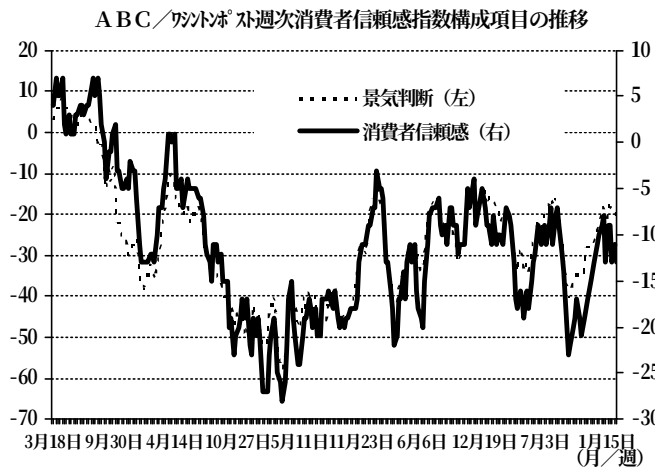
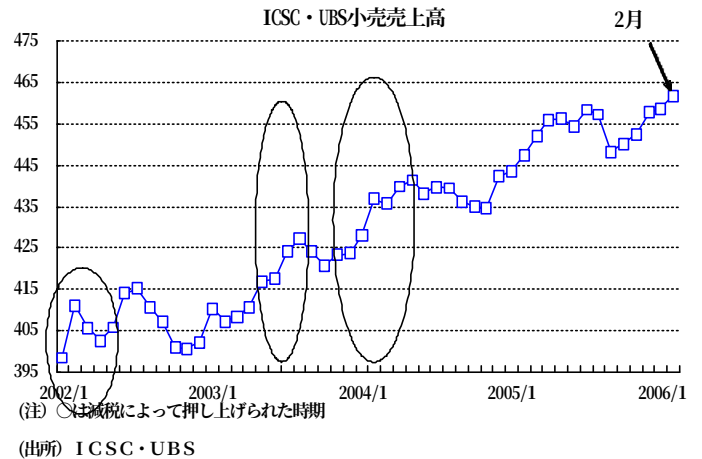
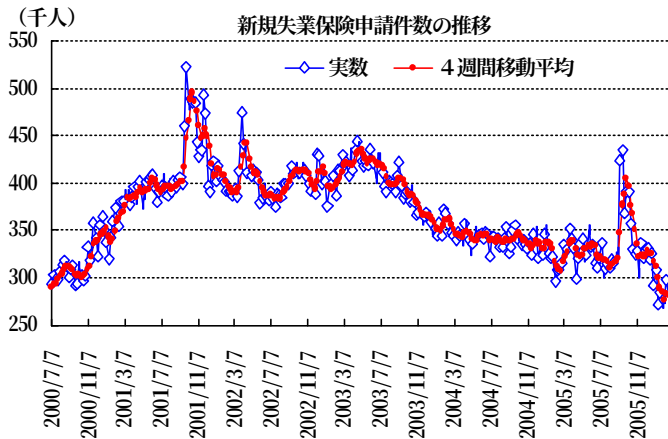
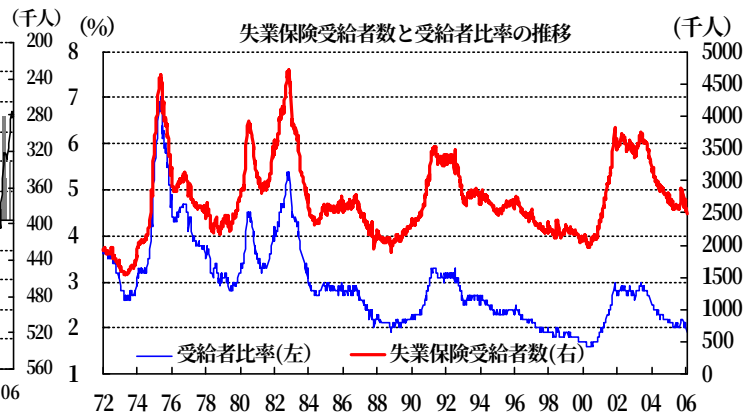
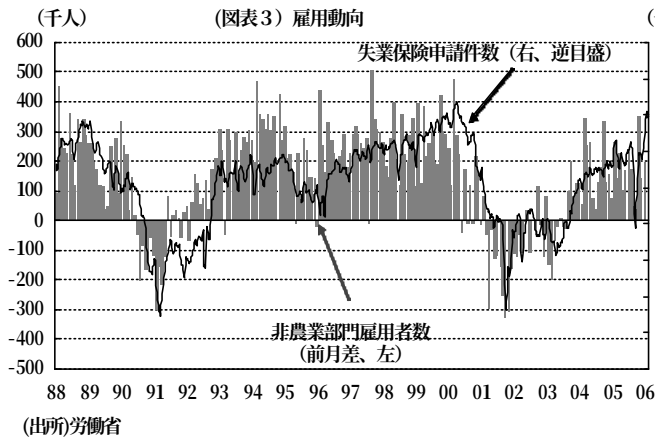
現在の雇用拡大ペ ースが持続

雇用を取巻く環境をみると、国際競争の激化や投入コストの上昇が続く中、一部の企業はコスト削減のため、レイオフ、採用抑制を続けると予想される。その一方で、雇用に先行する景気が2003年4～6月期から2006年1～3月期まで平均して潜在成長率を上回るペースで拡大しているとみられること、2006年1～3月期の新規雇用計画調査や経営者団体の景況調査における雇用計画などでは採用拡大が示唆されていることから、多くの企業で採用意欲が強まっていると判断される。さらに、雇用の大部分を占める中小企業の景況感が1月に改善し、雇用計画は高い水準を維持している。これらのことから、雇用者数は月次での変動が大きいが四半期では2006年前半も前期比+0.3%～+0.5%のトレンドを維持すると予想される。

中小企業雇用計画



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。